Social Welfare Organization

資料3

社会福祉法人佛子園 公益社団法人青年海外協力協会 一般社団法人生涯活躍のまち推進協議会

理事長 会 長

雄谷 良成



























ごちゃませ

「佛子園」の組織概要と取り組み事業

それぞれの地域に応じた コミュニティ支援を展開



B's行善寺 2015年~

多機能高医療福祉連携の 住民自治モデル



美川37café 2012年~

駅利用者が1.5倍に! 「みんなが集う駅」に変貌

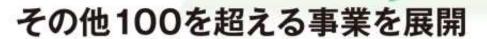


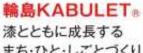
西周寺 2008年~

廃寺を温泉に、 地域コミュニティセンター として復興



「幸せの国」のさらなる しあわせづくり





漆とともに成長する まち・ひと・しごとづくり 2015年~



日本海倶楽部 1998年~

能登の高齢過疎地にてビール醸造で地域おこし



多世代ごちゃまぜの新しい街づくり



むじん蔵 2010年~

風情ある町家をサロン・カフェに再生



エイブルベランダBe 2006年~

廃業銀行店舗が子ども達の 創作ベランダに再生



鬚鬚張魯肉飯 2004年~

金沢工業大横の閉鎖店が 人気店に復活



「佛子園」の取り組み-1

1998年から街おこしに取り組む



【施設型 生涯活躍のまち】

三草二木 西圓寺[2008年~]

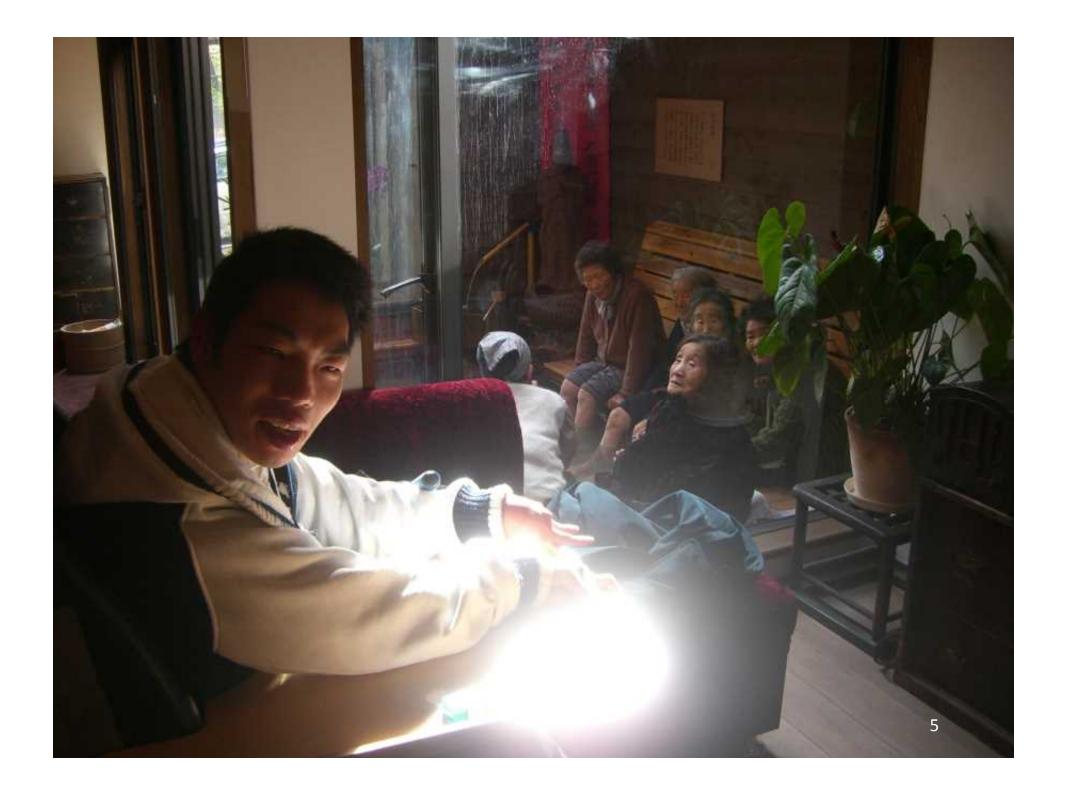


廃寺を地域コミュニティセンターに、 Share金沢プロトタイプ

- 障害がある人もない人も、子どもも高齢者も みんなでつくるコミュニティ
- 少数特定の小さな町から人のつながりが徐々に広がる
- 人の関わりが密になり町の世帯数と人口が増加 (10年間で55世帯から75世帯に)







三草二木 西圓寺

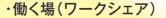








高齢者



- ・デイサービスの利用(定員10名)
- ・憩いの場

ボランティア



障害者

- ・働く場(就労継続B型〈定員14名〉)
- ·生活介護の利用〈定員6名〉

・温泉の利用

温泉客

- ・「市」の利用
- ・カフェの利用

ごちゃまぜの力!

SAIENJI Since 1473

圏域住民

見学者

子供

- ・遊び場として
- ·駄菓子屋

•小松市総人口 108,585人 •小松市総世帯数 41,082件 2015年 4月現在 •野田町総人口 214人 •野田町総世帯数 69件 2016年 4月現在



重度心身障がいの人と認知症の人が関わることで…

三草二木 西圓寺





2008年

55世帯から75世帯に増加

2018年

若者の定住と移住

ごちゃまぜ

すべての人は役割を持っている

役割=Role

すべての人が機能する

機能=Function

「佛子園」の取り組み-2

様々な地域コミュニティモデルを生み出す

美川37work 美川37café [2012年~]



駅の利用者が1.5倍に! 「みんなが集う駅」に変貌



- 駅の1日の利用者数が800人から1.5倍も増加
- 乗客以外に高齢者、障がい者の利用者が著しく増加
- カフェを中心にした地域コミュニティ拠点として 多くの町民が利用





【エリア型 生涯活躍のまち】

Share金沢 [2014年~]



日本版CCRC 政府認定モデル



- ●「生涯活躍のまち」No1モデルとして全国から見学者多数
- 高齢者、障害者、学生が共存、私がつくる街
- 高齢者が店舗の担い手として販売担当
- 学生がボランティア活動の担い手として活躍





Share金沢





2015年 4月11日 安倍総理



2016年 2月7日 石破地方創生担当大臣 馳文部科学大臣



2015年 9月15日 増田元総務大臣



Share金沢





この街をきれいに「洗濯」! 代表/大久保雅之



€味しいものに国境はない! シェフ/石田祐一



子そだて応援 1.2.SUN 笑顔と幸せをつなぎます!

助産師/頼 玲瑛



Groovy 人がつながる 新しい街モデルをデザイン! プロデューサー/下田武央



うまい酒があふれる街に! 店長/北村悦子

Mock.



SOUT	TH地区		
S-188	天然温泉		
	ニュー ももや(レストラン)		
	S-Grill.(配食サービス)		
	真飾者デイサービス・生活介護・結関介護		
EAST	地区		
	地区 七名音 元素入所挽殺		
E-18H	the standard like the standard		
E-18H E-38H	三名 元章入所始設		
ESTURA ESTURA ESTURA	予2 元重入所施設 S-ステーション		

PSI-地域スポーツシステム研究所

ネイチャー・コミュニケーション 「NPO法人 ガイア自然学校」

□ アトリエ付き学生向け住宅

| 全天地型グラウンド「S-Stadium」

	•	
MIDTO	NWN	NOF
M-1 606	党業入所施設	N-18
M-28%	サービス付き 高齢者向け性宅	N-28
M-34%	サービス付き 高齢者向け住宅	N-38
14.4事情	学生肉衍在宅	N-48
M-Selle	学生向け性宅	N SE
M 6-816	学生向が住宅	N-68
M-74th	学生向付住宅	WES
M-D-m	産前・産後ケア会団 「子そだて応援1.2.SUN」	W-1 (
M-94%	サービス付き 高齢者向け住宅	W-36
M-108He	学生的67性宅	W-49
M-118H	学生肉//住宅	
M-12 W M	党章入所施設	· - 74
M-DBH	サービス付き 高齢者向け住宅	シェア金 〒920-1168



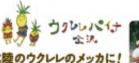






健やかにする! ボディケアセラビスト/吉原みゆき

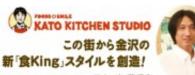








代表/藤本美和、ナガイアキラ、Gen



代表/加藤重和



生きがいと生存率の関係

生きがいのある人は、生存率が高くなる傾向にある。

対象者:

宮城県大崎保健所管内1 市13町に住む国民健康保 険加入者のうち、1994年 10-12月時点で40-79歳の 者全員(54,996名)

質問

あなたは「生きがい」や「は り」をもって生活しています か?

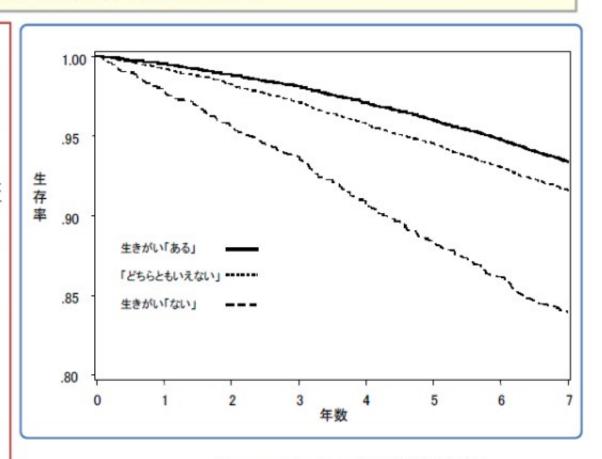
(全体:健康状態、生活習慣など12ページのアンケート)

回答:

「ある」= 25,596名(59.0%) 「どちらともいえない」 = 15,782名(36.4%) 「ない」= 2,013名(4.6%)

追跡調査:

死亡・生存、死亡年月日と 原因を9年間にわたって調 査



(Sone T, et al: Psychosom Med, 2008;70:709-715)

(資料出所)日本版CCRC構想有識者会議(第1回)辻一郎委員提出資料

「人生の目的」と要介護発生リスクの関係

「人生の目的」がある高齢者は、要介護になりにくい傾向にある。

対象:

米国シカゴの40ヵ所の高齢 者住に住む人々で認知症・ 要介護状態のない人々 (N=970)

調查:

心身機能(認知機能・生活 自立度など)、「人生の目 的」があるかどうか、など

追跡調査:

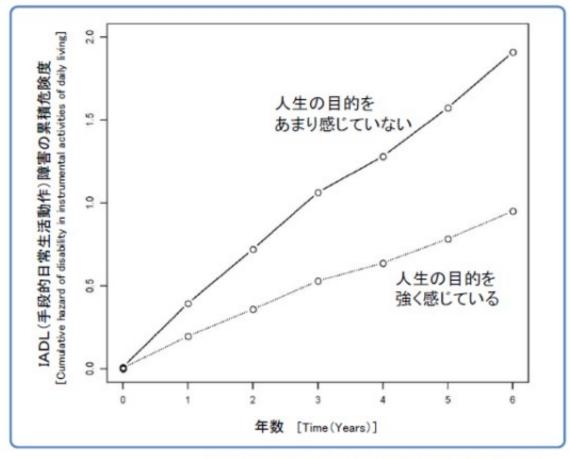
生活自立度などを毎年

追跡期間:

平均4.5年

結果:

「人生の目的」がある高 齢者では要介護の発生 率が約40%低下



(Boyle PA, et al: Am J Geriatr Psychiatry, 2010;18:1093-1102)

(資料出所)日本版CCRC構想有識者会議(第1回)辻一郎委員提出資料

ごちゃまぜ

第三の医療

Behavior Health 公衆衛生学 Public Health

ごちゃまぜ

人と人とのつながりと健康のメカニズム

- ①人と交わるだけで健康になる
- ②つきあう人やグループでその人の行動が決まる
- ③人とのつながりからうまれる支援(ソーシャルサポート)



2018/03/29

人生100年時代戦略



3ステージ(教育→仕事→引退)



マルチステージ(ステージ≠エイジ)



地域中心的プロセス

「ごちゃまぜ(地域共生社会)の地域戦略」

地域を中心に

- ・社会的排除のない拠点づくり
- ・雇用をリードする福祉・医療の活用
- ・交流(関係)人口の増加と人口集積
- ・若者の定着・UIターン、高齢者の移住
- ・「第三の医療」による健康促進 etc

子どもから高齢者まで男女、障害・疾病の有無、国籍等に関わらず、すべての人が活躍



世界に先駆け少子高齢人口急減に対応する日本

JAPAN WAY



個人中心的プロセス

「LIFE SHIFT 100年時代の<u>人生</u>戦略」

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット

個人を中心に

- ・新しいシナリオ
- 新しいステージ
- ・新しいお金の考え方
- ・新しい時間の使い方
- ・未来の人間関係 etc

セルフマネジメントできる層にはよいがそうでない人 の対応が問題・・・



「2024年問題」: 人生 100 年時代を生きる将来世代の未来を見据えて - 「選択する社会保障」 -

平成 30年 5月 29日 自由民主党政務調查会

- わが国は、人生 100 年時代が到来し、6 年後の 2024 年には歴史上初めて 50 歳以上の人口が 5 割を超える国となる。まさに、どの国も経験したことのない 事態であり、「2024 年問題」とも言える。また、2004 年の I MF の会議では、 「年金改革行きの最終列車の発車時刻」と題する資料が配布された。有権者総 数のうち 50 歳以上の者が 5 割を超える年を「発車時刻」として記載したもの である。わが国では 2003 年に既に 5 割を超え、今後 6 割程度まで上昇してい く見込みであり、これからの国の在り方、民主主義の在り方さえ問われている。
- このため、将来世代が生きる未来をしっかりと見据え、「高齢者」といった 年齢を前提とした定義・名称の在り方(名称は、幅広く国民に募るべき)も含め、様々な制度や社会の在り方、個々人の生き方・終い方を根本に立ち返って 考え、見直していくことが求められている。
- そして、人口減少の加速化、平均寿命の延伸、高齢者像の変化など様々な経済社会の変化を踏まえ、年齢による画一的な考え方やそれに基づく制度を見直し、全ての年代の人々が、希望と意欲が湧き、能力をいかし、選択し、自立し、また、様々な活躍ができる定年のない「エイジフリー社会」を構築することが零緊の課題となっている。
- こうした観点から、まず、本来社会保障が目指す「大きなリスクを皆で支え、乗り越える」、また、「真に支えを必要とする人に必要な支援を届ける」という原点に立ち戻りつつ、個々人の多様なライフスタイルに対応し、予防・健康管理はもちろん、働き方も含め前向きな行動への変化を促すため、「選択する社会保障」という考え方の下、社会保障の在り方・社会の基盤を総合的かつ技本的に再構築する必要がある。
- このため、政府においては、各省の垣根を越えた議論の場において、人生 100年時代に相応しい働き方・年金制度の実現(受給開始年齢の更なる柔軟化など)、働き方に中立的な社会保険制度への見直しと支援(被用者保険の適用拡大など)、受益と負担の在り方の見直し(年齢ではなく経済力に応じた負担など)、人生 100年型コミュニティの構築(多世代交流コミュニティなど)をはじめ、個人や企業の役割、社会保障教育、住宅政策や労働政策、さらには 21世紀のインフラとも言えるマイナンバー等の整備やテクノロジーの飛躍的発展との関係等も含め、中長期的かつ幅広い視点に立って、抜本的な改革の具体化に向けた検討を行い、来年末までに改革案とその工程表をとりまとめ、改革を順次実現すべきである。

4. 人生 100 年型コミュニティの構築

(1) 多世代交流コミュニティの実現

○ 若者も高齢者も子供も障害のある方も皆が役割を持ち、機能し、参加する社会を実現する。

8

- その一環として、地域に重点を置いた社会的排除のない拠点づくりに取り組み、制度縦割りではなく、若者、高齢者、子供など多世代交流(「ごちゃまぜ」)できるコミュニティを実現していく。
- こうした取組は、地域の活性化、社会保障の基盤づくり、地域の場・人の有効活用にも貢献する。

【当面の改革アプローチ】

- 多世代交流コミュニティについて、青年海外協力隊の OB・OG を活用 した好事例も参考に、横展開に取り組む。
- 民主導型 CCRC (Continuing Care Retirement Community) や「明るい逆参勤交代」(第二のふるさとづくり) など、様々な提案について、実効性と実現方策を検討する。

B'sプロジェクト [2015年~] BS WELL GOTCHAY WELLNESS











多機能地域医療福祉連携の住民自治モデル

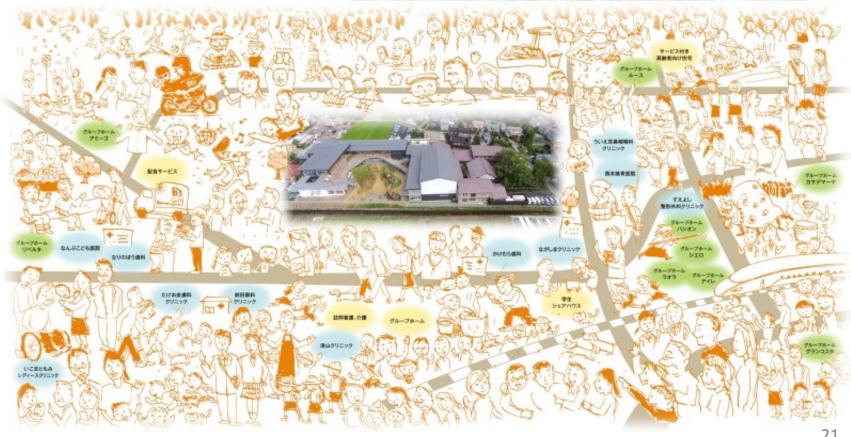
- 街づくりの拠点、住民自治の拠点
- ウェルネスを通じた健康促進事業
- あらゆる人が集まりつながる駆け込み寺







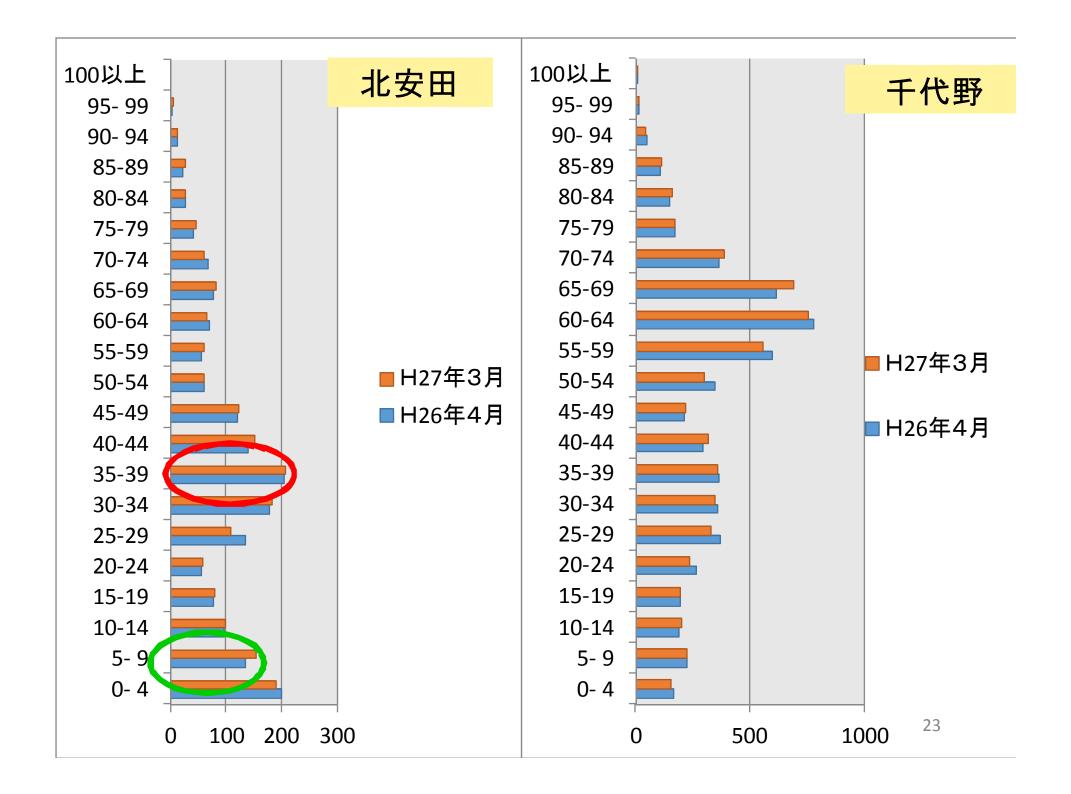




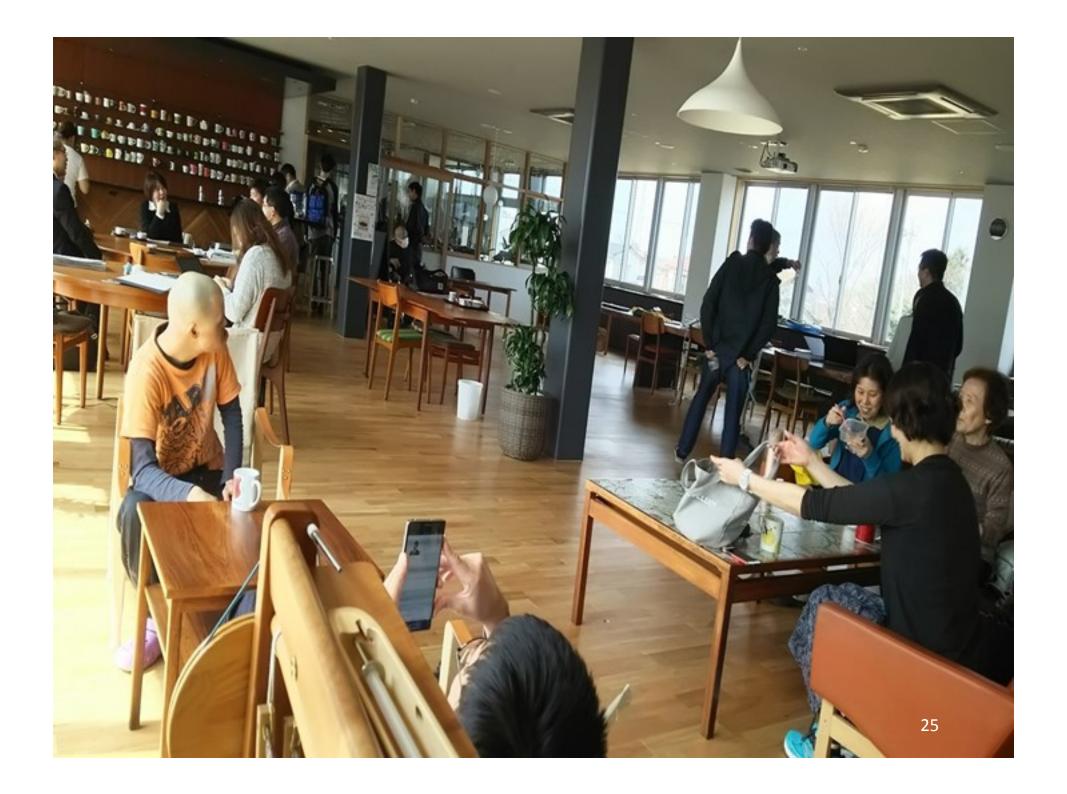
100以上 白山市 95-99 90-94 85-89 80-84 75-79 70-74 65-69 60-64 ■H27年3 55-59 月 50-54 45-49 ■H26年4 40-44 月 35-39 30-34 25-29 20-24 15-19 10-14 5-9 0-4 10000

出城地区(北安田町)人口

地区名	世帯数	人口	(男)	(女)
白山市	40,686	112,960	55,062	57,898
出城地区	3,272	9,379	4,508	4,871
北安田町	573	1,741	856	885





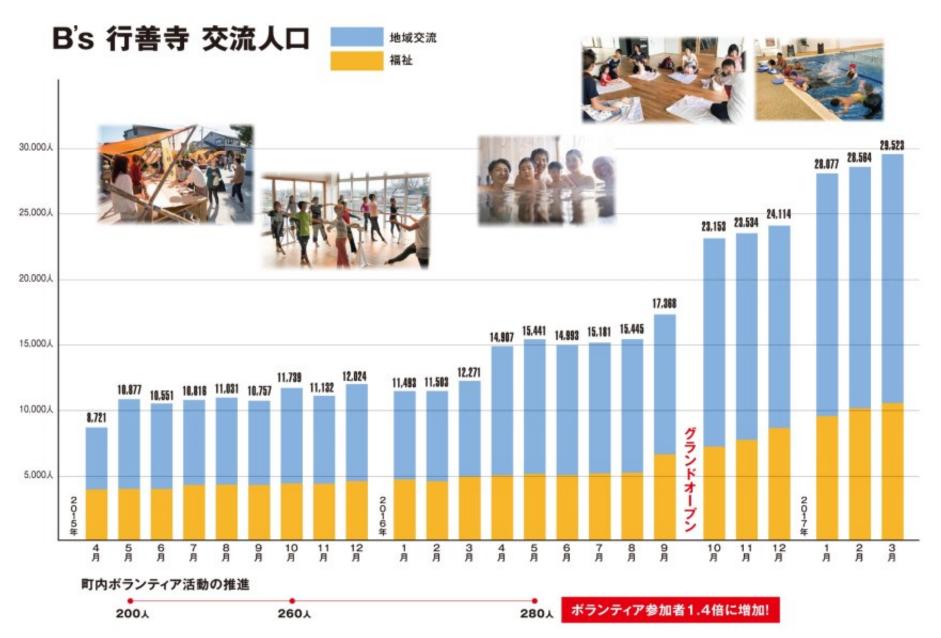












ごちゃまぜ

= Social Inclusion

⇔ Social Exclusion

社会的排除



社会福祉法人佛子園

隊員と家族 15名が移住

隊員のおもな職種

・ソーシャルワーカー

·大工

·料理

·感染症対策

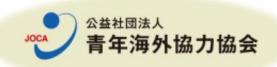
·青少年活動

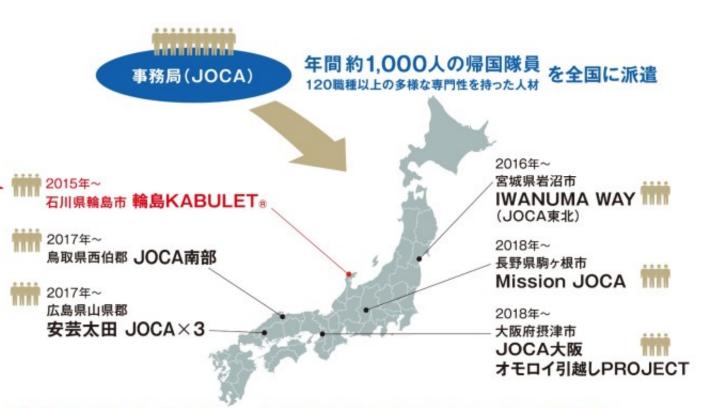
・障がい児支援

※拠点拡大に合わせ

派遣者を増員







「輪島KABULET®」を皮切りにJOCAのOBOGが 日本各地でさまざまな「地方創生事業」に取り組んでいます。

